

自治センターだより やまはし 10月号

編集と発行 山橋自治センター
発行責任者 十文字 秀 男
発行日 平成27年10月1日
電話 0247-26-1065
FAX 0247-26-3109



山橋地区敬老会盛況に開催

山橋地区敬老会が13日自治センターで開催された。生田目山形区長が開会の言葉を述べ、加納石川町長、実行委員長下条区長会長が主催者の挨拶を行った。

今年は約140名の参加で行われ75歳到達者の22名に敬老祝い金、88歳到達者に特別敬老祝い金が町から贈呈された。しあわせ金婚夫婦には、2組が該当し県老人クラブ連合会・福島民報社より賞状と記念品が贈られた。80歳到達者17名には、実行委員会表彰として座布団が贈呈された。

その後、玄葉衆議院議員、円谷県会議員、矢内町議会議員が来賓祝辞を行った。子供達からのメッセージで



金婚の表彰を受ける矢内夫婦

は、鈴木花華さん、板橋南緒さん、鈴木彩未さんが発表、祝宴では山橋詩吟会、山橋フラワーズ、兎田愛好会、健寿大学有志などによる詩吟や踊りを行った。最後は実行委員や飛び入りをふくめ参加者でひょっこり踊りも行われ、賑やかな楽しい一日を過ごした。



主催者挨拶を述べる加納町長



作文を発表する鈴木彩未ちゃん

健寿大学民報社を見学し理解を深める

健寿大学（矢内鷹嗣塾長）は17日20人で福島市の福島民報社を訪れ、新聞制作に理解を深めた。一行はまず会議室で、記者が取材した記事がどのようにして新聞が出来上がり家庭に届けられるかをDVDで学んだ。その後、編集局で担当者の説明を聞き、記事と写真がレイアウトされる様子を見て回った。見学の様子を印刷した新聞が贈られた。

午後は、福島市民家園の養蚕農家・庄屋・民具等を見学し、昔の生活や自分が体験した事などを語り合っていた。



10月の主な行事

日	曜	行事予定	備考	日	曜	行事予定	備考
3	土	板橋東渡神社祭礼	板橋	14	水	ふれあい広場	自治センター
4	日	板仲ミニ収穫祭	板仲なごみ	21	水	健寿大学	自治センター
6	火	まちづくり役員会	自治センター	25	日	産業交流祭	母畑レクサイト
9	金	ふれあい広場事前会議	自治センター	11/1	日	文化祭・山橋宝の里まつり	自治センター

日大農村資源開発研究室事前調査



宮部先生と日大学生

山橋地区を石ころアート（野外芸術動物園）でもりあげようと、構想策定のための基礎調査のため、日本大学の宮部教授と学生の3人・石ころアートの山野さん、センターから2人の7名で8月30日山橋地区の石を見てまわった。田んぼの土手や道路の脇の大きな石に動物のアートを描き、地域住民が一体となって地域おこしをしようとする構想である。石ころアートによるまちおこしに是非取り組んでいきたい。

石ころ多栃木県へ

石ころ多は栃木県大田原市で開催された「全国ご当地スポーツ大会in大田原」に参加した。石ころ多は、幼稚園児と一緒にじゃんけん列車、玉入れ勝負に参加し、人気を得ました。また、PRタイムで大勢の来場者の前で石ころ多の応援をPRしてきました。



子供達と遊ぶ石ころ多

ふれあい広場開催

ふれあい広場第1班（小木豊治班長）は16日40名の参加で事業を開催した。今回は室内で「グランドゴルフを楽しもう」ということで、木製のボールを使い山橋ルールで行った。

ひさしぶりに身体を動かし楽しいひと時を過ごした。



石ころ多けんしんに出張

県商工信用組合石川支店で9月12日に開催された「商店街フェア」に

石ころ多が出張し、祭の盛り上げに協力して来た。



こけ玉教室に26名参加

豊遊塾（鈴木勝徳塾長）は25日自治センターで小木豊治さんを講師にこけ玉教室を開催した。

秋の文化祭の出展を目標に、毎年行っているもので会員も年々腕が上がっている。文化祭が待ち遠しい。



作品づくりに励む受講者

賞状を手にする団員達

南山形スポーツ少年団が県南ブロック優勝

9月5日白河市で行われた5年生以下の新人戦において、南山形スポーツ少年団が県南ブロック優勝し県大会の出場が決まった。南山形スポーツ少年団は小学校統合後も合併せず活動してきた。今回の新人戦では4年生のエース鈴木淳大くんが3試合で完投、全員が出場し、全員の力で優勝することができた。決勝戦では同じ小学校の石川スポ小との対戦となり延長タイブレーク4対3の激戦を制してブロック優勝。10月に県大会に出場する。27日に大勢の支援者による壮行会が開かれた。

長寿会運動会開催

第23回山橋長寿会連合会大運動会が20日自治センターで選手・来賓を合わせ約100名で開催された。主催者として伊藤次男副町長・矢内鷹嗣長寿会連合会長が挨拶し、来賓の挨拶をいただいた後競技に入った。町の主催で健康で長寿を目標として11種類の



宝拾いをする来賓



競技する選手

無理のない競技で行われた。参加者は、審判長の指示で3班に分かれ競技をした。ラグビーボールが真っすぐ行かなかったり木リングがとんでもない方向に行ったりと、大笑いが続いた。最後は玉入れ競技だったが各チームとも籠いっぱい玉が入った。